

核兵器のない世界をこの手に

～禁止条約と ICAN ノーベル平和賞を力に～

参加登録者募集!!



三浦蓮月さん(活水中学校)の作品

The 6th Nagasaki Global Citizens' Assembly for the Elimination of Nuclear Weapons

第6回 核兵器廃絶 — 地球市民集会ナガサキ



2018年11月16日(金) - 18日(日) 会場/平和会館ホール、長崎原爆資料館

後援/朝日新聞社・共同通信社長崎支局・時事通信社長崎支局・長崎新聞社・西日本新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・

KTNテレビ長崎・NBC長崎放送・NCC長崎文化放送・NHK長崎放送局・NIB長崎国際テレビ・エフエム長崎・長崎ケーブルメディア

核兵器禁止条約の採択、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のノーベル平和賞受賞、さらには、朝鮮半島における非核化の動きなど、近年、核を取り巻く状況が大きく変動しています。

この集会では、「核兵器のない世界」を実現するために私たち市民社会は何かできるか、何をしていくべきか幅広い世代のみなさんと共に考えていきます。

被爆地長崎から、核兵器廃絶の願いを世界へ発信しましょう。

主な海外ゲスト（予定）

ピーター・ヘイズ	アメリカ：ノーチラス研究所所長
イ・テホ	韓国：参与連帯事務局長
ジャルガルサイハン・ エンクサイハン	元モンゴル国連大使
キャサリン・サリバン	アメリカ：国連軍縮部軍縮教育アドバイザー、 長崎平和特派員
スーザン・サザード	アメリカ：作家、長崎平和特派員
土岐 雅子	アメリカ：モントレイ国際大学院不拡散研究所
ダニエル・ホグスタ	スイス：ICAN コーディネーター
レベッカ・ジョンソン	イギリス：アクロニム軍縮外交研究所所長
ジャクリーン・カバツォー	アメリカ：西部諸州法律財団事務局長

集会の日程（11月16・17・18日）

日（曜日）	時間	内容	会場
16日（金）	13:00～	開会集会・基調講演	平和会館ホール
	15:30～	分科会1：朝鮮半島の平和と非核化の進展 北東アジアの核なき未来	
17日（土）	9:30～	分科会2：被爆の継承～ヒバクシャの想いに学び・伝える （11:40～：被爆継承サロン 会場：平和学習室）	平和会館ホール
	14:30～	分科会3：次世代とつくる核なき世界	平和会館ホール
	14:30～	特別企画：へいわってどんなこと？ 絵本作家 浜田桂子さんとともに	原爆資料館ホール
18日（日）	9:30～	分科会4：核兵器なき世界の実現をめざす NPT体制と核兵器禁止条約の役割	平和会館ホール
	13:30～	閉会集会・長崎アピール（終了後ピースウォーク）	

※分科会等の時間や開催場所については、変更の可能性があります。

分科会のあらまし

分科会 1	<p>テーマ：朝鮮半島の平和と非核化の進展 北東アジアの核なき未来</p> <p>いま南北会談と米朝会談後の進展に世界の関心が高まっています。朝鮮半島の完全非核化をめぐる問題点と課題を議論するとともに、日本を含む北東アジアの平和と安全について話し合います。</p>
分科会 2	<p>テーマ：被爆の継承～ヒバクシャの想いに学び・伝える</p> <p>第1部（シンポジウム）では、外国の平和活動家、ヒバクシャ、被爆二世・三世が被爆の継承の想いを語り、会場と意見交換をおこないます。第2部（被爆継承サロン）では、継承活動をしている小規模団体、個人が活動紹介の展示スペースを設け、第1部では語れなかった想いを少人数で語り合います。</p>
分科会 3	<p>テーマ：次世代とつくる核なき世界</p> <p>被爆者が高齢化する中、若者が被爆者の思いを引き継ぎ、核なき世界を実現するために平和活動を未来へどのようにつなげていくのか議論を交わし、被爆地長崎から発信していきます。</p>
分科会 4	<p>テーマ：核兵器なき世界の実現をめざす NPT体制と核兵器禁止条約の役割</p> <p>現在のNPT体制における核兵器禁止条約の役割を徹底的に議論します。</p>
特別企画	<p>へいわってどんなこと？ 絵本作家 浜田桂子さんとともに</p> <p>私たちが子どもたちに残すべき最大の遺産は平和で核兵器のない世界です。明日の主人公の子どもたちと一緒に、身近なところから創る平和を考えてみましょう。</p>